学校番号	１１３

令和３年度　地歴科

教科	地歴	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年	２年
類型等	必履修						
使用教科書	「世界史Ｂ」　（東京書籍）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院） 合格へのトライ世界史Ｂマスター問題集（山川出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生で学習した内容を土台に、さらに現代につながる世界の歴史を学びます。私たちが生きるこの世界、この時代はグローバル化が一層進み、色々なことが複雑に絡み合って、さまざまな問題を生み出しています。その問題の解決をはかるには、まず何が問題で、何故そのような問題が生じたのか歴史的に振り返ることで問題の原因や背景をさぐり、解決の手がかりをつかむことが大切です。過去、人類はそのようにして、その時代時代をつくってきて現在に至っています。歴史を学ぶことは、これから生きていく社会で、みなさんが「課題を見つけ、自ら考え、解決していく力」を身につけることにつながります。

また、世界は文化や宗教などにおいて多様性に富んでいること、時代によって価値観も変化してきたことなどを学び理解を深めることで、視野を広げ、多角的な見方を身につけて国際社会に主体的に生きる資質も養われます。

世界史を学ぶ姿勢としては、授業だけではなく、日々の世界のニュースに接し、博物館や美術館などに足を運び「ホンモノ」に接するなど努力をしてください。また、文学作品や映画などでも鑑賞した際にその時代背景や事柄について調べるという方法もお薦めです。

２　学習の到達目標

近代史から現代に至る歴史の大きな枠組みと流れを，理解させ，文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に関心を持ち、主体的に生きる自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近代から現代にかけての世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近代から現代の世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・定期考査 ・提出課題 ・授業への取り組み	・定期考査 ・提出課題 ・授業への取り組み	・定期考査 ・提出課題 ・授業への取り組み	・定期考査 ・提出課題 ・授業への取り組み

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点	単元（題材）の評価規準	評価方法

			a	b	c	d		
一学期	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会	○	○		○	a:複数の主権国家が、国富の増大をめざして、内外で抗争を繰り返したが、その歴史的過程を理解しているか。 b:宮廷文化と市民文化の特色・内容等についてよく理解している。 d:西ヨーロッパ諸国が国富の増大をめざして重商主義政策をとる中、植民地獲得の争いを繰り返した点を理解しているか。	・定期考査 ・提出課題
一学期	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・	○	○	○	○	a:産業革命がおこった背景・経過を理解している。 b:産業革命の結果、新たな市場が形成され、工業中心の社会が誕生したことを理解している。 c:アメリカ独立革命の経過を理解している。 d:フランス革命の経過とナポレオン帝政に至る過程の知識が身に付いている。	・定期考査 ・提出課題
二学期	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀の欧米の文化	○	○		○	a:市民革命と産業革命という「二重革命」の進行するなかで、欧米列強は「ウィーン体制」を構築するが、自由主義的改革やナショナリズムの動きを止めることはできなかった。この過程の知識が身に付いているか。 b:ヨーロッパの干渉から独立をめざすアメリカ大陸の国々の歴史を理解しているか。 d:貴族文化の時代から市民文化の時代になり、近代的科学がうまれたことを理解しているか。	・定期考査 ・提出課題
二学期	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺 ・西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○	○	○	○	a:オスマン帝国が次第に弱体化し、ヨーロッパ勢力の干渉に苦しめられる経過を理解している。 b:イギリスによるインドの植民地化の経過を理解しているか。 c:東南アジアの諸地域がヨーロッパ勢力に支配されてゆく経過を理解している。 d:清朝がヨーロッパ勢力の侵略を受け、衰退してゆく過程を理解しているか。	・定期考査 ・提出課題

三学期	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○		a:帝国主義成立の過程を理解しているか。 b:帝国主義諸国が成立する過程で、列強間で対立抗争をうみ、それがアフリカ・アジアをも巻き込む大戦争へつながる過程を理解し、知識として身につけているか。 c:欧米の帝国主義下におかれたイスラーム世界やインド・アジア等の民族運動の経過に関する知識が身についているか。	・定期考査 ・提出課題
三学期	二つの世界大戦と第三世界の独立	・第一次世界大戦とロシア革命。 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦 ・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立。 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米ソの歩み寄り	○	○	○	○	a:二つの世界大戦に挟まれた世界の概観を知識として身につけているか。 b:第二次世界大戦と戦後国際秩序の構築、「冷戦」の発生等、東西両陣営の対立に関する歴史的知識が身に付いているか。 c:冷戦の終結と、東欧社会主義圏の消滅、ソ連解体の歴史的知識が身に付いているか。 d:現代の国際政治につながる近現代史の概略、国際社会の変遷を理解し、身に付けているか。	・定期考査 ・提出課題

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。